学校番号	209

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	地理総合「高等学校　新地理総合」（帝国書院）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちが暮らす日本社会は高度な情報化や少子高齢化の進展、外国からの労働者・旅行者の流入によって大きく変わろうとしている。グローバル化が進む今日の世界で、多様な宗教や風俗、自然などの基礎的知識を身に着けることが必要になる。また、世界で起こる環境問題や資源・エネルギー問題、食糧問題など様々な地球的課題も存在する。地理総合では地理的な見方・考え方を通してそのような諸課題と向き合うとともに、そこで必要な知識を養っていく。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
地理におけるさまざまな事象の基本要素を身につけ、理解することができる。
【思考力、判断力、表現力等】
世界の様々な地理的事象から、考え方を働かせ相互関係を自ら考え追究、探究することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
地理的な見方・考え方を働かせ、グローバル化する国際社会に主体的に生きるための資質・能力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基礎的な地理的事象を歴史・自然・文化などと関連づけて理解することができる。 都道府県などの地理の基礎的事項を身につける。	世界の諸問題を地理的観点から考察し、文化の多様性を認め、地域の特色を多角的に理解しようとする。 世界の気候や自然環境からその地域の特性や風土を考えることができる。 地理的な統計資料や地図・グラフなどの読み取り方や作り方を習得することができる。 雨温図やハイサーグラフから、その土地がどのような環境であるかを考えることができる。	地理的事象に対する関心と問題意識を高め、意欲的に学習に取り組むとともに、自ら世界や地域の課題について主体的に調査できる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	地図と地理情報システム	・地球上の位置と時差 ・地図の役割と種類	a:地図や地理情報システムの役割や有用性を理解し、それらを用いて情報を収集してまとめる基本的な技能を身につけることができる。 b: 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し表現することができる。 c:地図や地理情報システムについての理解を深めたうえで、積極的・主体的に理解しようとしている。	定期考査・小テスト	定期考査・ワークシート・提出物	ワークシート・提出物
	結び付きを深める現代社会	・現代世界の国家と領域 ・グローバル化する世界	a: 現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などをもとに、方位や時差、日本の位置と領域国内や国家間の結び付きなどについて理解できているか。 b: 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して主題を設定し世界的な視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し表現できるか。 c:日本が抱えている領土についての課題を理解してうえで、グローバル化する社会の中で日本が世界とどのようにむすびついていくべきかを考察しようとしている。	定期考査・小テスト	定期考査・ワークシート・提出物	ワークシート・提出物

二学期	生活文化の多様性と国際理解	・世界の地形と人々の生活 ・世界の気候と人々の生活 ・世界の言語・宗教と人々の生活 ・歴史的背景と人々の生活 ・世界の産業と人々の生活	a:世界の人々の特色ある生活文化をもとに、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性を持つことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 世界の人々の特色ある生活文化をもとに、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解する。 b:世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し表現することができる。 c:世界の人々の特色ある生活文化について理解しようとする。	定期考査・小テスト	定期考査・ワークシート・提出物	ワークシート・提出物
	地球的課題と国際協力	・複雑に絡み合う地球的課題 ・地球環境問題 ・資源・エネルギー問題 ・人口問題 ・食糧問題 ・都市・居住問題	a:世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食糧問題及び都市・居住問題などをもとに、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。 b: 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食糧問題及び都市・居住問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し表現することができる。 c:世界各地でみられる地球的課題について、主体的に考え、関わろうとしている。	定期考査・小テスト	定期考査・ワークシート・提出物	ワークシート・提出物

三学期	自然環境と防災	・日本の自然環境 ・地震・津波と防災 ・火山災害と防災 ・気象災害と防災 ・自然災害への備え	a:我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害をもとに、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。 様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し読み取りまとめる地理的技能を身につけること。 b:地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して主題を設定し自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し表現することができる。 c:日本で起こりうる自然災害などに対して正しい理解を得たうえでそれらを考えようとしている。	定期考査・小テスト	定期考査・ワークシート・提出物	ワークシート・提出物
	生活圏の調査と地域の展望	・生活圏の調査と地域の展望	a:生活圏の調査をもとに、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。 b:生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結びつき、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察し構想、表現することができる。 c:生活圏の調査を通して、積極的に地域的課題の解決などに取り組むことができる。	定期考査・小テスト	定期考査・ワークシート・提出物	ワークシート・提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度